

5

じゅうおう はし る じ  
縦横に走る路地



本町には「ひまい道」と呼ばれる細い路地をはじり縦横に路地が通っています。今と昔を行きかう道として古い壁や石積みの塀など風情を楽しむことができます。

6

おくくまのだいかんしょあと  
奥熊野代官所跡



元和5年(1619年)、徳川頼宣の入封と同時に開設され、奥熊野本宮から紀伊長島に至る7組およそ100ヶ村を統轄していました。現在遺構は残存せず、門前にあった樹齢400年余の老松の切株と礎石の一部である沓石が残されています。

歩4分 距0.4km

7

ししいわ  
獅子岩



井戸川上流にある大馬神社の「阿吽(あうん)の狛犬」で、獅子岩が「阿(あ)の巖」で、隣の神仙洞が「吽(うん)の巖」と言われています。このため元宮の境内には狛犬がなく、高さ25mの日本一大きな狛犬として海に向かって咆哮しています。

歩8分 距0.7km

8

はまかいどう しちりみはま  
浜街道(七里御浜)



西国三十三所名所図会には旅人や巡礼者が歩く姿が描かれており、江戸時代から熊野三山へ向かう道であったことから浜街道として世界遺産に登録されました。また、熊野川が運び込んだ紀伊半島各地の色とりどりの石を見ることが出来ます。

歩12分 距1km

9

はな いわや  
花の窟



神々の母であるイザナミノミコトを葬りまつたと日本書紀に記されている神社です。神々の魂を鎮め、慰めるために、毎年2月2日と10月2日には日本書紀の記述のとおり、季節の花を飾り、笛や鼓を演奏し、乙女が舞を踊ります。

歩17分 距1.4km

### ●レンタサイクル

【料金】

電動自転車(大人用)  
1時間 400円 2時間 600円 3時間 800円 4~9時間 1,000円

普通自転車(大人・子ども用)  
1時間 200円 2時間 300円 3時間 400円 4~9時間 500円

※子ども、駐車場の割引があります

【貸出・返却場所】

◆熊野市観光公社(熊野市駅前)  
利用時間 9:00~18:00 休業日 月曜日・12月29日~1月3日

◆お網茶屋(花の窟神社)  
利用時間 10:00~17:00 年中無休

◆紀南ツアーデザインセンター  
利用時間 9:00~17:00 休業日 毎週水曜日 年末年始

◆鬼ヶ城センター  
利用時間 9:00~17:00 年中無休

◆熊野古道おもてなし館  
利用時間 9:30~16:30 休業日 月曜日・12月29日~1月2日

※月曜日が祝日の場合は営業

◆里創人 熊野倶楽部  
利用時間 9:00~17:00 年中無休

【お問い合わせ】

◆熊野市観光公社 TEL 0597-89-2229



### ●市街地周遊バス

【運行日】土日祭日:1日7便

【運賃】 1日乗り放題:お1人様 200円

【バス停】

鬼ヶ城・熊野古道おもてなし館・花の窟・産田神社・山崎運動公園・熊野倶楽部(金山パイロット)・熊野市駅前・記念通り商店街・紀南ツアーデザインセンター・熊野古道松本峠

※乗車券を各バス停でお見せいただくと嬉しい特典が受けられます。

【お問い合わせ】

◆熊野第一交通(株) TEL 0597-85-2155



### ●観光タクシー

【料金】

1~3時間コース 5,000円~15,000円

タクシー乗務員のガイドを聞きながら観光名所をめぐるります。

※予約制となります。(当日も可)

※料金は1台あたりの金額となります。

※中型車1台あたり、4~5名様までご利用できます。

【お問い合わせ・ご予約】

◆熊野市観光公社 ◆熊野市観光協会  
TEL0597-89-2229 TEL0597-89-0100



### ●観光ARアプリ「かざすCITY」

iPhone AppStore またはAndroid Google playで「かざす熊野」を検索して「かざすCITY」を無料ダウンロード!スマホで観光情報や各市町のイベント情報がわかります。



iPhone



Android

### 熊野市観光スポーツ交流課

〒519-4392

三重県熊野市井戸町796

TEL:0597-89-4111

<http://www.city.kumano.mie.jp>



くまの旅。  
めぐり歩き、  
めぐりあい、



熊野「世界遺産」  
熊野古道と  
街並み散歩  
めぐり



熊野市文化財専門委員 花尻 薫氏・三石 学氏 監修

祈りと信仰の道、熊野古道。

千年の時を超え

古道の行く手に点在する街並みは、

道を守り、暮らした人々の生命の証。

ぶらり、千年の時を歩きませんか。

1

まつもととうげ  
松本峠



峠には高さ170cmの地蔵があり、妖怪と間違えられて鉄砲で撃たれたという伝説が残っています。また、江戸中期には寺子屋があり、530人余りの子どもたちが教育を受けていた場所とも言われています。

歩23分 距1.8km

2

きなん  
紀南ツアー  
デザインセンター



明治時代に建築され、木本の伝統的な建築様式をほぼ当時のままとどめている貴重な建物です。休憩・学習・買い物を楽しむことができます。紀南の旅情報なども手に入れることができます。

歩10分 距0.9km

3

くまのこどう  
熊野古道 かん  
おもてなし館



築130年の古民家を改修した休憩処です。熊野古道のパンフレット、和室の休憩所、熊野特産品の販売、テイクアウト商品の販売などを行っています。営業時間:9:30~16:30 定休日:月曜日、年末年始(12/29~1/2) お問い合わせ: 0597-70-1231

歩7分 距0.6km

4

きのもと もじいわ  
木本の文字岩



「西遊記」で知られる江戸時代の作家である橘南谿が、波田須の徐福の宮を訪ねて感動し、華城山の麓の大きな岩盤に、徐福を偲んだ詩を大書し、地元の石工が彫りつけたと言われています。

歩8分 距0.7km

時間、距離は熊野市駅からの片道になります。



## 周辺散策INDEX

### 鬼ヶ城センター

熊野の四季を感じられるお食事と特産品を取りそろえた、まるごと熊野を体感できる施設です。熊野地鶏コロッケや新姫ソフトなどのテイクアウト品も人気です。  
営業時間：9:00～17:00  
お問い合わせ：0597-89-1502



### お網茶屋

花の窟に隣接する茶屋で、熊野特産の土産物や食品を扱う他、「お網かけ神事」の資料を展示しています。古代米を使用したうどんやだんごも人気です。  
営業時間：10:00～17:00  
お問い合わせ：0597-88-1011



### 熊野市駅前特産品館

「熊野のなめらかどぶろく千枚田」、「新姫ほん酢」、「熊野地鶏・地鶏こん棒」等の熊野自慢の商品を取り揃えています。  
営業時間：9:00～18:00(平日)  
[4～10月]9:00～19:00(土・日・祝日)  
[11～3月]9:00～18:00(土・日・祝日)  
定休日：年末年始(12/30～1/2)  
お問い合わせ：0597-89-6018



### 木本隧道

大正15年に開通した木本隧道坑門のイギリス式デザインは、両坑口とも壁柱と帯石、笠石、迫石、扁額を備える重厚な煉瓦トンネルです。壁柱のみコンクリート構造となっており、独特の凹型模様があります。土木学会の選奨土木遺産に指定されています。



### 【熊野土産鶏】

有名料理人や食通をうならせるプリプリとした弾力と、抜群の旨味を堪能できます。市内の取扱飲食店でも味わえます。



### 【新姫】にいひめ

熊野市で発見された小ぶりの柑橘で、爽やかな香りとキリリとした苦味で様々な食材に彩りを加えてくれます。



### 【めはり寿司】

熊野の郷土料理で、食べる時に目を見ひらくほど大きく、おいしいことから名前になったと言われています。



### 【さんま寿司】

熊野市発祥の郷土料理で祝い事などで食されてきました。味付けは店によって違いがあり、食べ比べを楽しむのもオススメです。



### 【くまの活魚】

これまで漁師だけが食べていた抜群の鮮度の魚を、ひと手間かけることにより「熊野ブランド」として熊野市内限定で食べていただけるようになりました。



### 【取次店HP】

熊野の美味しい土魚取次店を紹介しています。



熊野「世界遺産」  
熊野古道と  
街並み散歩  
めぐり

●お網茶屋(道の駅 熊野・花の窟)

銀行 レンタサイクルポート